



TSUTAYA



株の学校ドットコム

株式トレード

# 8つの誤解

あなたが「株の迷宮」  
に迷い込まないために

株の学校ドットコム 講師 窪田 剛

THE  
*Eight*  
MISUNDERSTANDINGS  
*of Stock Trades*

## 「トレードを通して夢のライフスタイルを手に入れる人を 増やし、世の中に元気を与えたい」

この株の学校ドットコムを元にして、このレポートを制作しました。現在、本当は能力があるのにも関わらず、夢を実現する手段が無いばかりに、夢を叶える事が出来ない人も多い世の中です。また、実際に株を始めた人でさえ、本質的なコンテンツが無いばかりに大切なお金を簡単に失ってしまうことも多いのです。

しかし、本来株式トレードの世界は、本当に大事な知識さえ分かれば、普通では得られない夢を実現する手段になってくれるものです。今回はこのレポートを通して、株という手段を通して、あなたが夢を実現する方法をお伝えしていきます。その夢が実現することで、あなたの家族や周りの人にも希望を与えることになります。

ですから、ぜひ、しっかりと読み、出来るところから実践をしてください。そして、小さな夢から大きな夢まで様々な夢を叶えていくことで、周りの家族や友達のインスピレーションになって欲しいと思っています。

また、今回のレポートは、株式会社TSUTAYAの協力のもとに提供しています。それは、株式会社TSUTAYAの想いである「ライフスタイルに革命を起す」「価値をカタチにする」という想いと株の学校ドットコムが重なり、より多くの方の人生を変化させ、夢を掴む人を増やすために提供をしています。

ぜひ、このレポートをきっかけに、あなたの夢をつかむことで、もっと世の中を明るくしてほしい。そう思っています。それではどうぞお読みください。

## 株式会社TSUTAYA × 株の学校ドットコム

それでは改めて始めていきましょう。

こんにちは。

株の学校ドットコム 講師、現役トレーダーの窪田 剛（クボタ ツヨシ）です。

株の学校ドットコム のメール講座へのご登録、ありがとうございます。

これから、このレポートを読む時間より遥かに大きな価値を、あなたに提供していきます。

このレポートは一過性のモノではなく、あなたが一生お金に困らない、何年でも株で稼ぎ続ける「本質」をしっかり伝えていきます。

もちろんあなたが、真剣に望まなくては無理です。

世間で言われるように、株は簡単に稼げるというのは大いなる幻想です。

例えば、

プロ野球の選手になるために、“野球の上達法”という本を読んだ翌日から、  
「僕はプロの選手です」という人がいたら「おまえアホか」と思うと思います。

しかし、

なぜか株の世界では、ちょっと勉強したくらいで

「今日からプロみたいに楽々稼げるぞ」という「勘違い」をしている人が多すぎます。

とはいえ、あなたが株で稼ぐためにやる事は本当にシンプルなことの積み重ねだけ。そのシンプルな積み重ねをしていくことにより、実際に私は数億円の利益を出す事が出来ました。しかも、最初の元手はわずか30万円。

最初の元手はわずか30万円でスタートし、数億円の利益に変えてきたのです。その期間は10数年。

この期間の中で、30万円だった資金から数億円の利益を出したわけですが、そのおかげで様々な夢を叶えることが出来ました。個人的な夢であったり、社会への貢献などです。

例えば、2010年のことです。私はネパールに学校を建設し、寄付をしました。



私が建設したネパールの学校

この学校は小学校と中学校が一貫になっており、数百人の生徒が学ぶことが出来ます。この学校には多くの生徒が通う事が出来るようになりとても喜んでもらっています。

「良質な教育によって世界が変わっていく。」こんな考えのある私は、元マイクロソフトの幹部の方が主催する団体を通して学校を寄付し、現在は多くの生徒がその学校で学び、成長してくれています。

また、最近では、六本木とニューヨークに飲食店も出しています。おかげさまでどちらもとても人気です。ニューヨークのIzakaya（イザカヤ）というお店はニューヨークタイムズにも取材され現地の方にもとても好評です。



NYのお店「Izakaya」とニューヨークタイムズの記事の一部

また、事業の方でも、「株の学校ドットコム」の講師として、出版も行っていきます。タイトルは、ズバリ「株の学校」。以下にあるように、赤い本で、「手帳の高橋」で有名な高橋書店からの出版です。

おかげさまで多くの書店で1位となりベストセラー、Amazonの株式投資カテゴリーでも長期にわたり1位となりました。

また、別の話としては、蔦屋書店やTSUTAYAを運営する株式会社TSUTAYAとの共同開発ということでDVDプログラムを作成し販売しています。



私の書籍『株の学校』シリーズ（高橋書店）

TSUTAYA×株の学校ドットコム  
「タイミングマスター」

ちなみに、この株式会社TSUTAYAとの共同プロジェクトであるタイミングマスターは、期間限定でのオンライン販売のため、販売時期が来たらお知らせをしています。

ですから、気になるという場合、まず、左の赤い本がTSUTAYAや書店で買えますので探してみてくださいね。

他にも、相場が大きく動いた際には、「情報プレゼンター とくダネ!」や「めざましテレビ」にも取材されたりもしています。



### テレビの取材にこたえている所

このように、私はトレードに出会って10数年間の中で大小様々な夢を叶えてきました。正直に言えば、自分が想像した以上のスピードで夢が叶っているのです。

とはいえ、こんな事をお話すると

「テレビにも取材されるなんてすごいですね」

「最初からどうせすごかったんでしょ？」

「窪田さんは元々裕福な育ちなんでしょ」

「良い先生について、すぐに結果を出したんでしょ？」

と言われることも多いです。

しかし、最初からうまくいった訳ではありません。

というよりも、むしろあなたの方が昔の私よりも確実に有利な立場にいる。そんなキモチが正直なところなのです。

私が株を始めた時。

それは、今から10年以上前のことです。

私が20歳で大学生のときでした。

20歳で株を始めた当初の元手はわずか30万円だけでした。

何故、私が株を始めたのか？

それは、夢をかなえるためにはお金を稼ぐ必要があると思ったからです。

私は、9歳で父親を交通事故で亡くし、4兄弟の長男として母親一人の育てられました。母親の気遣いのおかげで貧乏であることを苦痛だと思ったことはありませんが、お金が普通にある環境とはほど遠いものでした。

ですから、大学は全て奨学金で通い、時間があればバイト詰めの日々。

月の生活費は2万円で大学生活を送りました。

自分の夢や親孝行をどんな方法で実現すれば良いのか、その時は想像もついでおらず、実は半ば諦めてもいました。

しかしそんなときです。

私は「奇跡」とも言えるような方法に出会ったのです。

それが、「株」でした。

私は寮に置いてあった雑誌の“株式投資”の特集を目にし、引きずり込まれるように読み込みました。

そして、その日から狂ったように、まさに手当たり次第に株式投資に関する本を読み漁ったのです。

まさに私はその時にこう思ったのです。

「株ならコネもなければ、元手の小さい俺でも勝負できるかもしれない。自分の夢も実現できる、なにより今まで女手ひとつでここまで俺たち兄弟姉妹を育ててくれた母ちゃんに親孝行もできるぞ」と。

それからです。株式投資の勉強にのめり込んだのは。

当時はバイトでコツコツ貯めた全財産である、元手30万円からのスタートです。

「何もしないで簡単に稼げるのでは・・・」という甘い幻想はすぐに崩れましたが、なんとしても株でお金を稼ぐという一心で努力を重ねていきました。

そして、何も分からないところから、今まで勉強と実践を積み重ね、それなりの実績を残してきました。

言うまでもなく、多くの個人投資家、トレーダーが一瞬で破産に追い込まれたリーマンショックの時だけでなく、ライブドアショックなど、数々の暴落相場も経験してきました。

大学を卒業し、すぐに専業トレーダーになったわけではありません。

専業トレーダーになる前は、普通の会社に就職しました。

当然ながら、金銭的な上限は会社に決められてしまいます。

そんな中、

コツコツと続けてきた株で、大きな利益を得る事ができたのです。

今から思えば、たまたまその時の相場状況が良かっただけかも知れませんが、

私が「これは株式トレードで生計を立てるしかない！」

と考えるには十分な実績でした。

そこで会社をやめ、専門トレーダーの道を歩き始めたのですが・・・

人生は、そんなに甘くなかったようです。

専門になってはみたものの、1年間積み上げてきた利益を1日でぶっ飛ばした

こともありました。

そんな経験の中、

「絶対に株で稼ぐしかない」

そんな思いを持ちながら、そして、仲間の助けも借りながら、何度か数々の暴落相場も乗り越えてきたのです。

そんな激しい損失と実践の繰り返しの中で、しっかりとつかんだ本質的なもの。その逆境の中でつかんだ、その本質を大切にしていくことで、利益を積み重ね続けることが出来たのです。

その結果、株を始めた当初、わずか30万円しかなかった元金は、いつしか100万円になり、1000万円になり、3000万以上になり、さらに今では累計で数億円の利益を出すまでになっているのです。

では、何故多くの人が半年で大きな損失をだして相場からいなくなっていくその裏で、私は10年以上コンスタントに利益を出すことが出来たのか？

10年以上という長期間でみて利益がでていますが、何か特別なことを私がしているのかといえばそんな事はありません。

私がやっているということといえば、本質に従う事のみ。つまり、トレードで利益を出すために、外してはいけない本質的なモノをつかみ実践してきただけ。ただ、それだけで、普通ではありえない金額の利益を、当たり前に出し続けることが出来ているのです。

しかし、

残念ながら、現在の日本の投資教育では、この非常に重要な本質が伝えられな  
いばかりに、株式市場から一瞬で消えていく人が後を絶ちません。

本来伝えられるべき、株で利益を出すための本質が伝えられず、そのせいで多  
くの方が大切なお金を失ってしまっているのです。

私の人生を大きく変えた株式トレード。

そして、私を支えてくれた株仲間のトレーダー達。

私はこの株式トレードを通して私は大きく人生を変えることが出来ました。

しかし、世間の投資教育では、本当に大事な本質はなかなか伝えられず、多く  
の人が無駄な損をして夢を諦めている現状があるのです。

だからこそ、今回のレポートでは、その本質をナビゲートすると同時に、株の世界でまことしやかに囁かれている「間違い」や「ごまかし」、「あいまいさ」を取り払って行くことで、あなたの株に対するイメージを一瞬で変えて行きたいと思っています。

そして、あなたが夢だと思っていたような事を現実にする力を当たり前手にいれてほしいのです。

ですから、あなたは、必ず、必ず、このレポートの中にあることをしっかり理解してください。そして、1つでもいいから実践をしてみてください。

その結果、今までの事が嘘のように、株式トレードからの利益が積み上がってくるはずですよ。

そして、当たり前のように夢が叶ってしまう姿を周りの人に見せてあげることで、多くのインスピレーションを与えることが出来る。

そして、

「なんでそんなに簡単に稼げてしまうんですか？」

「僕もあなたみたいになりたいです。」

と多くの人があなただに言って来る。

そんな状況を作る事で、あなたの周りの人までもが自分の夢を叶えていくことが出来るのです。

それでは、具体的にどうすれば良いのか？

今からお話をしていきます。

今からお話することは、非常に重要なことです。

しかし、投資教育の現場において、明確な定義がなされていません。

全くなされていない、ということではないのですが、私の知る限りこれを正しく理解している人は、ほんの一握りだと思います。

これが分かっていると嘘やまやかしに心を奪われ、本当に遠回りをしてしまいますから気をつけてくださいね。

逆に、これを理解しているだけでも、多くの個人投資家が迷い込んでしまう迷宮に入り込まずに、最短距離でエッセンスに到達することができるはずですよ。

## あなたが「株の迷宮」に迷い込まないために。

こんなテーマで、株の世界にはびこる間違っただけの考えを紹介していきます。

この間違っただけの考え方をしているために、あなたは出すべきではない無駄な損失を数百万円単位で出してしまっているのではないのでしょうか。

逆に、この間違っただけの考えに私は気づいたとき、自然と利益が上がるようになりました。さらには、このレポートを読んだ多くの人が、利益を出し始めることができ、多くの夢が叶っているのです。

プリントアウトして気になるところには、線を引いてお読みくださいね。

では、いきましょう。

# 1. 投資とトレードの明確な違いが 説明できますか？

基本中の基本なのですが、株の本を読んでも、明確に定義してあるものは見当たりません。

「投資とトレード」あるいは「長期投資と短期売買」とも言いますが、私はトレードと呼んでいます。

あなたは、投資もトレードも呼び方が違うだけで、同じものだと思いませんか？

たとえば、1年後の株価が分かるとして、大幅な値上がりをしている株なら、何をしても儲かると思っていないませんか？

もしそうだとしたら非常に危険です。

それは「投資」と「トレード」を区別しないまま、自分の資金を投入していることになるからです。

では「投資」と「トレード」、その違いについて今からお話をしますので、読んでください。

最初に結論から言います。

投資というのは、価値に資金を投じる行為です。

トレードというのは、価格に資金を投じる行為です。

もう少し噛み砕いて表現するならば、

企業価値に焦点を当てるのが投資です。

現在の株価に焦点を当てるのがトレードです。

これ以外の要素は、枝葉末節以外の何者でもありません。

それでは、それぞれをさらに詳しく説明します。

まずは投資の方から。

投資は、よく中長期投資などと言われますよね。

数年単位の長いスパンで見ることが多いです。

長いスパンで見なければいけないと言うわけではないのですが、短いスパンで企業の価値がすぐに反映されることが少ないので、比較的長期の視点が必要になってきます。

ただし、時間軸が長いから投資だと言うわけではありません。

あくまでも、資金を投じる人の焦点が「価値」に向いているのか、そうでないのかが判断基準です。

投資では、安い株を見つけてきて、高く売るというバリュート投資と言われるものがありますよね。

また、成長余地の高い企業に目をつけて、今のうちに資金を投じて置くという、グロース投資と言われるものもあります。

いずれにしても、他の人に見えていない、その企業の「価値」に焦点を当てていることは間違いありません。

本来の価値、もしくは将来の価値に比べて、現在は「安い」と判断しているわけです。

今そこにはまだ存在していない「価値」というものに資金を投じて、その価値が現実化するまで見守っていると言う点で、農耕的なイメージと言ってもいいかもしれません。

誰にも見向きもされていない土地が、肥沃な土地なのかどうかを調べ、種を蒔き、芽吹きを待ち、晴れの日も雨の日も、じっくりと果実が大きく育つまでじっくりと見守る。

そしてその後、誰よりも大きな果実を手にすることが出来る。  
そんなイメージで間違いありません。

その投資に対し、トレードとはどのようなものなのでしょうか？

次はトレードの説明に移ります。

トレードで大切なことは、企業の価値ではありません。  
企業の価値という視点は、トレードには関係ありません。

**トレードで大事なものは、現在の株価です。**

現在の株価が全てです。

ということなのか、詳しくお話しします。

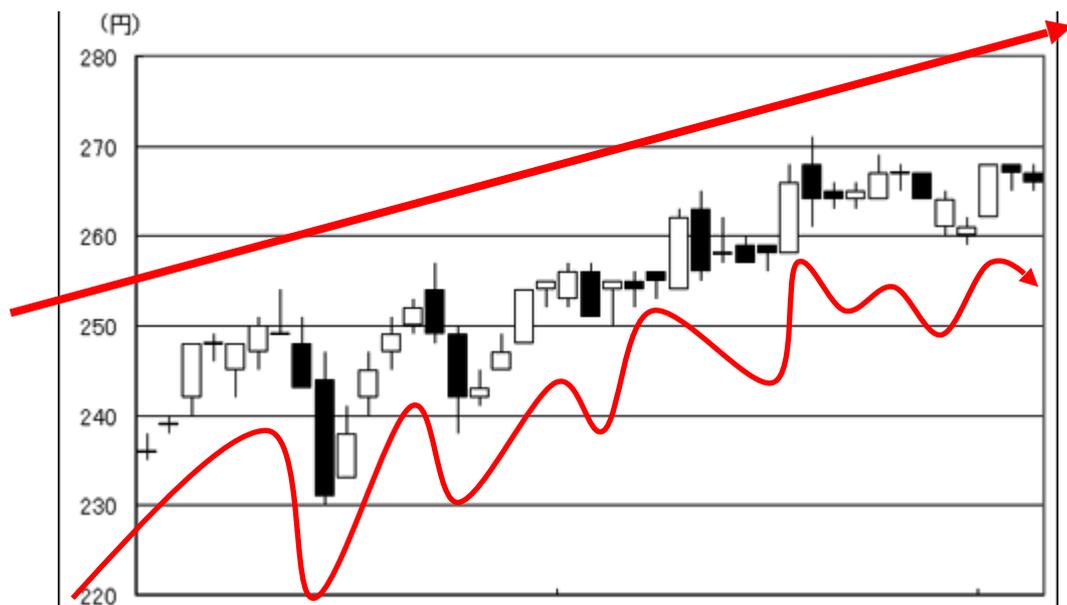
株価チャートというのを見たことがあると思います。

チャートは、時系列でならべた株価の集合体です。

一瞬一瞬で動く株価の値動きを、視覚的に見やすくしたものがチャートです。

さて、それでは株価は何故動くのでしょうか？

参考までにひとつ適当なチャートを持ってきました。



このチャートは全体を通して右肩上がりになっていますね。

ということは、株価が上昇しているということなのですが、小さな波の上下を繰り返しながら右肩上がりになっているのがわかりますよね。

では、その波は何故できるのでしょうか。

なぜまっすぐ直線にならずに波を打つのでしょうか。

簡単なことですが、意外と答えられない質問かもしれませんね。

聞けば当たり前のことなのですが、そこに人間がいるからです。

チャートは、時系列でならべた株価の集合体と先ほど言いましたが、本質的には、チャートは、時系列でならべた心理の集合体なのです。

あなたが見ているチャートや、取引画面の向こう側には、同じように利益と幸せを願っている数百人、数千人の人間がいるのです。

そしてそれぞれの人たちが、自分の判断で、これからその株が上がるか、下がるかと考えて、売買を繰り返しているのです。

チャートというのは、言い方を変えれば、その銘柄に注目している、生身の人間の心理が表れたものだといっても過言ではありません。

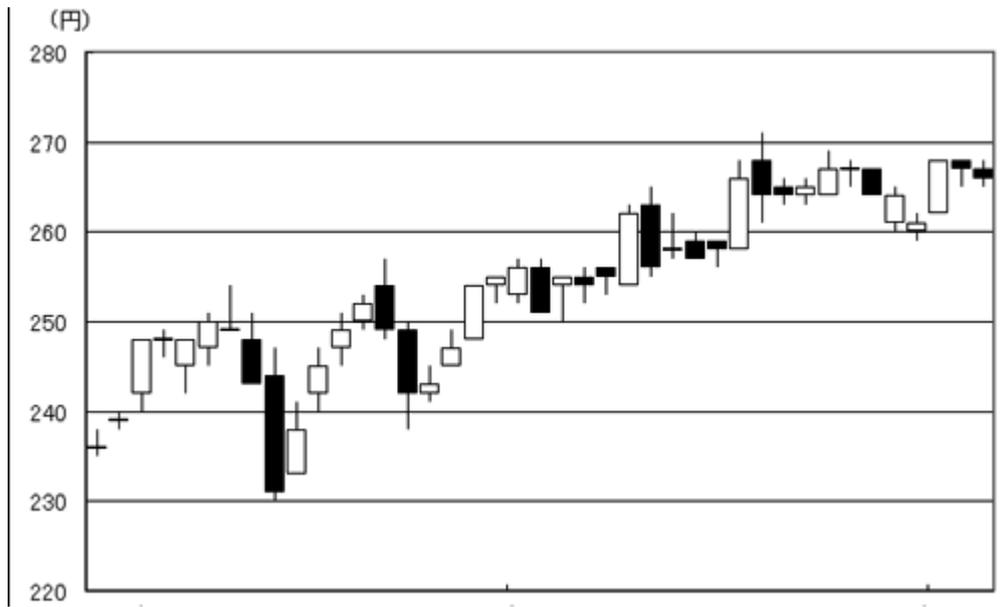
では、

「トレードでは現在の株価が全て」

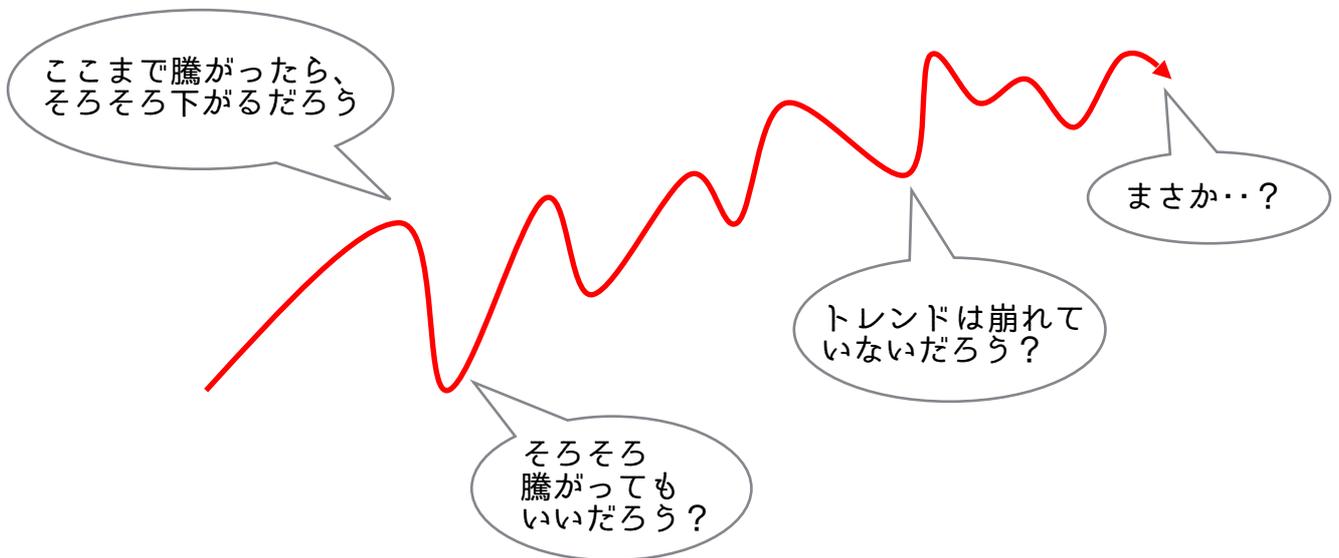
というのはどういう意味なのでしょう。

さきほどの投資は企業の価値を判断し、お金を投じるという行為に対して何が違うのでしょうか？？

ここで、もう一度チャートを見てください。



たくさんの人間の心理が、一つ一つのローソク足を形作っているのだとしたら、あなたには、このチャートがどのように見えますか？



画面の向こうにいる、さまざまな思惑の人の声が聞こえてきませんか？

チャートと言うのは、株価の値動きの集合体なのですが、味気ない機械的なものではなく、とても人間くさいひとつのストーリーなのです。

そして、トレードというのは、人間心理が作り上げる波の行き先を、確率で予測する行為そのものです。

株価が今現在の株価までどういう動きをしてたどり着いたかを分析し、その中にあるパターンを発見したとします。

そのパターンの時は、次の瞬間株価が上にいくことが多いということならば、買いでエントリーする。

逆ならば、売りの判断をする。

そこにあるのは、企業の価値ではありません。  
常に目の前にある株価だけです。

判断基準は、その企業が何をしているか？ではなく、現在その企業の銘柄を売買している生身の人間が、何をどう判断するか？という心理のみです。  
チャートのパターンは、人間の心理パターンと言うわけです。

そのため、もちろん100%期待したとおりに動くわけではありません。  
エントリーした次の瞬間は、株価がどちらに動くかは分かりませんから。

しかし、過去の動きからある程度の方向を予測をし、それを積み重ねることによって利益を出していくのです。

なぜ、過去のデータ、過去のパターンが有効かと言え、人間の心理というのは、昔も今も一緒だからです。

先ほど投資は農耕のイメージであると言いましたが、それに対して、トレードは狩猟的イメージだといえるでしょう。

今そこには無い未来の果実がどうなるか？ではなく、すでに目の前にある獲物を捕らえるために自分がどう動くかを考える。

トレードにおいて、よく「勝つ」「負ける」という表現が使用されるのも、このような狩猟的イメージから来るのかもしれませんがね。

畑を耕して「勝つ」などという表現はしませんから。

さて、現在は、投資とトレードがゴチャゴチャになっている人が多いために、何をしているのか分からない人が多いようです。

あなたは大丈夫ですか？

投資でしたら、企業の価値に焦点を当てて、その価値が表に表れるのを見守るべきですから、トレードのように、同日中に売買が終了することは、まずありません。

トレードで、たとえばデイトレードなどをするなら、企業価値の要素は無視してもよいです。株価の動きを観察し、自分がここだ！と思った株価に入ってきたらエントリーをするのです。

まずは、投資とトレードとは、見るところが全然違うということを理解してください。

あなたが株式市場に資金を投じるときには、「投資」を行おうとしているのか、トレードを行おうとしているのかを、自分の中で整理してから行うべきです。

そうでないと、どうなったら資金を引き上げるのかが決まってきません。投資の焦点ならば、企業の価値や方向性に変化があった時が判断すべき時です。

トレードの焦点ならば、株価の変化が、自分の予測値を超えた時が判断すべき時です。当然ですが、自分の予測値から上ぶれしても下ブレしても、それが出口です。

結果は利益確定と損切りで、まるで違いますが。

この「投資」と「トレード」の違いだけ分かっているだけでも、あなたが他の投資教育教材を見たときに

「これは投資の話をしている」

「こちらはトレードの話をしている」

と判断できます。

あなたにとって必要なエッセンスだけを絞り出して吸収することが出来ます。

また、もし証券マンにある銘柄を薦められる事があったとしても、投資を薦めているのかトレードを薦めているのかを質問できます。

証券マンの中にも、売ることに必死になりすぎて、投資とトレードが混乱したまま薦めてくる人もいます。

もしあなたがそのような証券マンに出会ったら、優しく教えてあげてくださいね。

### では、私が何故トレードを選んでやっているか？

理由はシンプルです。

私の持っているお金、時間、そして私の性格などが、投資よりもトレードに向いているからです。

企業価値にお金を投じるよりも、株価そのものにお金を投じる。

正直なところ、投資を効果的に行うためには、ある程度の資金量が必要になってきます。

長期投資というのは、利回りでいえば、年利20%が続くようならば、すごく良いほうです。

年利回り20%

あなたにとって、この利回りは高いですか？低いですか？

元本1億円の人ならば、1年後に2000万円が入ってくるわけですから、悪くないリターンといえるかもしれません。

しかし、元本100万円、あるいは1000万円くらいの人にとっての年利回り20%は、20万、200万というリターンです。

個人的な見解ですが、私はより多くの自分の時間をかけてもいいので、より多くのリターンを得たいと考えています。

トレードであれば、年利回り20%をはるかに上回る利回りを出すことも可能です。正しく学習すれば、利回り100%、あるいは300%程度のリターンも十分可能になるのです。

年利回り100%ということは、一年で資金が2倍ということです。  
300%というのは、約4倍です。

私の場合は、資金的にも、時間的にも、トレードの方が向いている。  
そう判断したわけですね。

資金的とは元本は少なく、数千万円規模の資金を持っていないという部分。  
時間的とは何年、何十年先の利益では得たい結果が得られないという部分です。

しかし、  
これはあなたがどう判断するか？ということは、まったく別の話です。

あなたは、あなたに一番フィットした投資スタイル、トレードスタイルと言うものを見つけるべきだと思います。

様々な投資教材は、あなたに一番フィットしたスタイルを作る参考材料にするべきものだと思います。

いま世に出ているほとんどの投資教材は、あなたにインスピレーションを与えてはくれますが、あなたにお金そのものを与えてはくれません。

ではまとめます。

投資とトレードは全く別物である。

企業価値に焦点を当てるのが投資です。

現在の株価に焦点を当てるのがトレードです。

この違いをしっかりと認識してくださいね。

## 2. 銘柄がよければ儲けられる?? . . .

「株で儲けるには銘柄が一番大事」

実は、これは盲目的に信じられている大きな間違いです。

トレードに関しては、大きな間違いです。

たしかに投資に関していえば、企業の価値を判断するわけですから銘柄は非常に重要な要素です。

しかし、トレードに関していえば、銘柄そのものは単なる記号ですので、重要性はありません。

強いて言えば、ある程度の売買高があるということと、あなたがその銘柄に集まってくる人の心理を読み解くことができやすいか?ということだけが問われます。

たとえば、あなたはこの意味が分かりますか?

ちなみに、これは私のトレーダーの友人が語った少し前の事例です。

「私は、1円円安になると利益が400億円上乗せされるトヨタの株を空売りで儲けています。

また、業績不振で急落していたシャープ株を、買いでエントリーして利益を出すことも出来ています。」

企業価値でいえば、つまり投資の観点でいえば、円安の恩恵を受けて上昇している輸出関連株のトヨタは買いでエントリーする方が多いでしょう。

しかし、私の友人は空売りで利益を出しています。

当時のシャープはといえば、業績が悪かったわけですから投資的視点でいえば出がけるべきではなく、特に急落している最中で、買い方で利益を出した人はきっと数少ないでしょう。

しかし、私の友人はその両方で利益を出しました。

なぜか。

それは彼がトレーダーだからです。

トレーダーにとって銘柄の企業価値は関係がありません。  
現在の株価と、そこに集まる人間心理が全てだからです。  
業績によって売ったり買ったりするわけではありません。

シャープについてちょっとお話をしましょう。

シャープは、あなたの知っての通り非常に有名な企業。

しかし、台湾のホンハイとの提携話が進まず、業績不振が進み、株価が大きく下落しました。

しかし、友人は買いでエントリーし、そして売り、利益を出しました。

つまり、安い値段で買って、高い値段で売ったということです。イメージは以下の通りです。

急激に株価が急落したのに、なぜ安く買って高く売って儲かるのか。

これがなかなか見えてくるまでは分からないのですが、投資とトレードの区別がついたあなたならば、よく分かる話でしょう。



シャープの売買

このように、企業の価値が下がり、株価が急落しても、その中でも上下の波があります。ですから、企業価値が落ちて、一般には買わない方が良さだろうという銘柄でさえも、買いでエントリーして利益を出す事が可能になるのです。

ちなみにこれは日足ですが、本番のときはもっと細かい時間軸でみていたことも一応付け加えておきますね。

ここで私が言いたいことは、

盲目的に信じられている、「株で儲けるには銘柄が大事」ということは、投資にはあてはまりますが、トレードをするなら重要ではない、ということです。

単純に業績が良いから買おうという事でもありません。

逆に業績が悪いから空売りしようということでも無いのです。

しかし、株雑誌なんかを見ていると、本当にゴチャゴチャになっていますから、混乱してしまうのも無理はありません。

あなたはこの違いを明確にしてください。

そうすれば、何に注目すれば良いのかが分かって、無駄がなくなりますから。

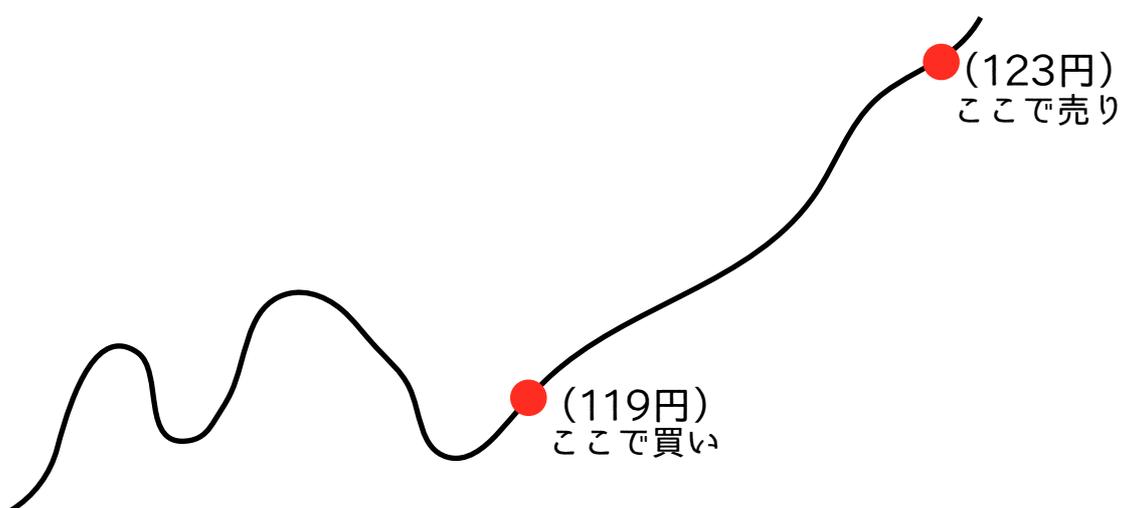
トレードでは、企業の価値よりも、株価の動きそのものが大事なのです。

くどいようですが、トレードにおける銘柄選びで大事なことは、銘柄の企業価

値の良し悪しではなく、あなたが儲かる値動きのパターンが多く現れる銘柄が  
良い銘柄です。

大事なので、さらに図を使って説明したいと思います。

あなたが図のようなパターンで儲けることが出来るとします。



119円で買う前に、図のような形の山が2つ並ぶと、次は上昇に向かうことが多いというパターンをあなたが見つけたとします。

もしそうだとするならば、あなたはこのような値動きをする集団心理のパターンへの感度が高いということになります。

もちろん、そこで利益を出している回数にもよりますが、もしこのパターンが、あなたの利益に繋がるもののだとしたら、このような値動きをしている銘柄を探し出せばよい、ということになります。

また逆もしかりです。

あなたは、既に様々な銘柄で「なんとなく」売買をしているとします。

その売買履歴を見てみると、その中に何故か理由がわからないけど、利益がうまく出ているものと、そうでないものがあることでしょう。

数回程度の売買履歴では分からないと思いますが、もしその中に共通して利益を上げているパターンがあったとしたら、それはあなたにとって、あなただけの得意パターンなのかもしれません。

共通して損失を出しているパターンを見つけられたとしたら、次からの売買で気をつけるべきことが浮かび上がってくるかもしれません。

あなたの心理と、その銘柄に参加している他の人の心理。

そこに流れるパターンを意識して、コントロールできるようになれば、利益が出せるようにならない方がおかしいと思いませんか？

プロと言われるトレーダーは、様々な銘柄について研究しますが、1日で実際に売買を行うのはせいぜい数銘柄です。

それは、一度に見られる銘柄数が限られているということもあるでしょうが、自分が得意とするパターン、間合いに入ってくる銘柄は、数えるほどしか出てこないという場合もあるからです。

あくまでも、自分が意識してコントロールできるということが重要です。

私にとって見えやすいパターンが、あなたにも見えやすいという訳ではありません。

あなたのパターンは、あなたにしか分かりませんから、あなたがトレードで儲けたいのであれば、証券マンやアナリストが推奨しているような銘柄を選んでも全く意味がない、と言っても過言ではないのです。

利益を出すためには、あなたにジャストフィットするチャートパターンを見つけること、それだけなのです。  
それを満たすことが出来れば、銘柄は何でもよいのです。

大事なのは、あなたの心理状態と、株価に現れる画面の向こうの人たちの心理です。

そのことを理解してください。

実際には、株価の動きを見るために、テクニカル指標なども使用しますが、本質を理解してもらうために、簡略化したほうがわかりやすいので、このようにお話しています。

トレードで儲けるために、銘柄は重要ではない。

株価が全てである。

これを理解してくださいね。

今後は株本や株雑誌で特集されている「お薦め銘柄100選」と言った銘柄を、

「本に紹介されているから」という理由だけで買うことは、やめた方が良く  
とを分かってもらえたと思います。

このような紹介が、あなたのトレードに直接プラスになることはありません。  
もし「お薦め銘柄100選」と言った記事を見たのならば、

「これを読んだ別の個人投資家は、どのように考え、そして行動するだろ  
うか？」

と想像してみる事の方が、あなたを「利益の出せるトレーダー」に導くこと  
でしょう。

すこし抽象的な話が続きましたね。

おそらくあなたは、

「では、そのパターンを、どう見つければいいのか？ 教えてくれ！」

と思っていることでしょう。

すでにいくつかはヒントを出しているのですが、  
これからあなたの元に届けられるメールを楽しみにしていただきね。

その前にこのレポートの内容はマスターしておいてくださ  
い。

## 以上まとめると・・・

トレードで儲けるためには銘柄の企業価値は一切関係ない。  
株価が全てである。

あなたが利益を出すためには、あなたにジャストフィットするチャートパターンを見つけること、それだけなのです。

それを満たすこと銘柄であれば何でもよいのです。

### 3. 勝率の甘いワナ・・・勝率が99%の 売買手法でも負けてしまう理由とは？

あなたは知っていますか。

勝率99%の売買手法があったとしても、損が出てしまうという事実を。

個人的には「勝率」という言葉自体、あまり好みではないのですが、他に適当な言葉が広まっていないため、ここでは分かりやすくするために使います。

さて、ここに勝率99%の株の売買手法があるとします。

売買手法というのは、自分の売買をルール化したものです。どんな銘柄を、どのタイミングで買ったり売ったりするのかをルール化したものだとして理解してください。この売買手法に関する説明は、詳しく後日からお送りするメールの中でお伝えをしていきます。

でも、ここでは、売買手法と言われる投資やトレードのルールというものがあって、ルールに従って売買を行う事によって利益が積み上がるのだなと理解しておいてください。

そして、改めて先ほどの話に戻ります。

ここに勝率99%の売買手法（トレードルール）があるとします。

つまり、100回トレードをしたら、99回が利益で1回が損失のルールです。

勝率99%なんて話を聞くと、

「絶対にお金が貯まる」

「勝率が高いから儲かる」

そう思っている人が多いようですが、実はこれは大きな間違いです。

勝率が高いのが悪いと言っているのではありません。

利益の出る確率が高い方が、低いものよりも良いのは間違いありません。

しかしその勝率よりも、もっと大事なものがあるのです。

ではまず「勝率が99%でも損をする」という話を、極端な例で説明します。

勝率99%という数字は、100回売買した時、99回利益を出しているという数字です。

しかし、その利益の大小は考慮されていません。

0.1%の利益でも、10%の利益でも、同じ1回です。

話を単純にするために、0.5%の利益を99回連続で出すと、元本100万円が163万円になります。この時点で勝率99%ですよね。

これは複利で計算し、全てのトレードに全額を投入した場合のお話です。

この時点では63万円の利益です。

ところが、最後の一回で、暴落が起きたとします。

暴落時には、現実の株式市場でも、株価が一気に半分になることもザラです。

つまり163万円が一気に81.5万円になってしまうということです。

すると、勝率は99%なのに、元本100万円から比べて18.5万円の損が出ているのです。

これは、極端な例ではありますが、実際に起きる出来事です。

そして、概して勝率の高いルールであればあるほど、損失が出る時には、大きくダメージを負ってしまうものが多いのも事実なのです。

これを読んでいる方の中にも

「コツコツと利益を出す確率は良いのだが、損失を出すときには大きく穴を開けてしまう」

という方は、多いのではないのでしょうか？

そのような方は、勝率にこだわっている傾向があるはずです。

あなたは大丈夫ですか？

もう一度言いますが、勝率が高いのが悪いという話ではありません。

私がここで強調したいのは、

利益を出す確率よりも、もっと重要な要素がある。

ということです。

ではその重要なこととは何か？

それが**期待値**と呼ばれるものです。

期待値の説明の前に、ひとつクイズを出します。

一瞬で、どちらが儲かるか即断してください。

①勝率は90%、1回100万円のトレードで、儲かるときは常に2万円儲かる。

ただし損をするときは20万円マイナスのトレード

これを10回繰り返したとき。

②勝率はわずか10%、1回100万円のトレードで、損をする時に1万円マイナス。

ただし儲かるときは20万円プラスになるトレード

これを10回繰り返したとき。

どちらが儲かるか分かりますか？ その差はどれくらいだと思いますか？

勝率に目を向けていると、迷ってしまう問題だと思います。

では答え合わせです。

勝率どおりに10回のトレードが全部済んだとすると、

①はマイナス 2万円

②はプラス 11万円

勝率90%の方が損をして、勝率10%の方が利益を出しているのです。

②と即断で答えることができたあなたも、これほど大きな差があるとは思わなかったかもしれませんね。

これが「勝率」に隠されてしまっている、数字の怖さです。

①の10回でマイナス2万円になるトレードということは、  
 $-2万円 \div 10回 = -2,000円$ が、一回のトレード毎に損として計上されていくとも言えます。

つまり、あなたがこのトレードルールに従うということは、  
毎回損を出しているのと同じだということです。

勝率は90%なのに、期待値からすると、勝っている間も実は損していたということなのです。

では②の10回のトレードで、プラス11万円になるトレードは、1回あたりにすると  
 $11万円 \div 10回 = +1.1万円$   
つまり1トレード毎に1万1千円のお金が殖えていく計算になるのです。

勝率は10%なのに、負けている間も、実は1トレード毎に利益が積みあがって  
いっているのです。

本来はもうすこし複雑ですが、単純化して話をしているので、本質をとらえてください。

これを1トレード当たりの期待値といいます。

私や、本当に利益を続けているトレーダーが気にしているのは、  
勝率ではなく、期待値の方です。

自分のルールを見直すときも

「期待値を上昇させるためには、どのように見直せば良いのか？」という事に  
焦点を合わせます。

その結果、勝率が高くなることは歓迎ですが、本末転倒にならないように気をつけなければなりません。

期待値がプラスのルールというのは、いうなれば  
繰り返せば繰り返すほどお金が殖えるということです。

つまり、期待値がプラスで、トータルで利益が出るルールがあれば、  
あとはそれをただただ繰り返すだけなのです。

ルールを繰り返すだけでお金が殖える。

これを洗練させて、膨大な過去の検証を行なったものが、システムトレードの本質的部分と言えます。

システムトレードの本質的部分を理解していると、システムトレードを謳っている教材を見たときに、それが学ぶに足る教材なのか、そうでないのかも瞬時に判断できます。

話が若干それましたが、勝率が高いからという理由だけでは意味がありません。

それだけでなく、

勝率は関係ない。期待値が大事だということを覚えてください。

続けて、もう一つ勝率に騙されることの弊害を考えてみましょう。

## 4. レバレッジが高ければ儲けられる？

レバレッジという言葉を知っていますか？

最近FXなどでも流行している言葉ですから、知っている方も多いと思いますが、おさらいの意味で、そもそもレバレッジとは何かというお話をします。

レバレッジとは、「てこ」のことで、小さな力を大きな力にするという意味で使われています。

株式の世界では、簡単にいうと、自分の資金ではないお金を借りてきて、借金して売買をすることだと思って間違いはないです。

あなたが100万円持っているとします。

その100万円だけでは資金が足りないと感じたあなたが、友達から900万円を借りてくるとします。

つまり持ち金は100万円の10倍の1000万円。

あなたは、この1000万円を全て使って、株価1000円の株を1万株、1000万円分買ったとします。

次の日、株価が100円下がり、1000円から900円になりました。10%の下落です。

このくらい下落であれば普通に起きることです。

株価900円ですから、あなたの資産は1万株×900円=900万円になりました。

すでに、あなたの100万円が一日で消えています。

レバレッジを使わずに、手持ちの100万円分だけで株を買ったとしたら、10万円の損失で済んだのに、10倍の損失です。

10倍のレバレッジをかけているのですから、当然ですが。

「一日で10%落ちて900万円。明日一日で10%上がれば元の1000万円だろう？」

と思いがちですが、この時点で既に間違いです。

900万円が10%上がっても、990万円にしかありません。  
つまり、同じ上昇率では、元には戻らないのです。

そして、さらに次の日も10%下がったとします。

株価810円、あなたが持っている資産は810万円に目減りします。

あなたは自分の100万円だけではなく、友人の90万円も消失させたこととなります。

さらに次の日、一気に20%の下落がおきました。

株価650円、あなたが持っている資産は650万円。

しかしこの資産は見せかけで、実際のところは純資産ゼロ、そして債務超過250万円となっているのです。

そのような中、もし友人から「やっぱりお金、返して」と言われたら、どうしましょう？

あなたは900万円借りてきて、現在の株価は650万円。

あなたの元本は消え、さらに友人からの借金を返すためには、250万円足りません。

さらに、まだ株を持っているあなたは、売らなくては現金が戻ってきません。

あまりの急落だったため、買い手がつかずに更に下落する株価。

さあ、どうしましょう？

「あー…無理だ…」

これがレバレッジの恐怖です。

あまり気持ちの良い話ではないですね。

でも、ここではレバレッジの恐怖をわかってもらいたかったので、あえてこのような話を出してみました。

株でレバレッジを10倍にすることは通常出来ませんが、FXでは25倍、場合によっては（法人口座）では400倍などというレバレッジを効かせる事もできます。

レバレッジの持つプラス面とマイナス面を理解して利用する分には、とても有用なものです。文字通り「諸刃の剣」だということを充分理解して利用しましょう。ただ単にレバレッジの倍数に惹かれて取引する方は、初心者か、あるいは相当のプロ以外はいないはずですよ。

「諸刃の剣」という表現をしましたが、ではそれが利益に繋がった場合はどうなるのか？

とてもハッピーなニュースになります。先ほどの逆ですからね。

100万円で10倍のレバレッジをかけたら、1000万の取引が出来ます。

1日で10%上がったとすると1000万円が1100万円になります。

あなたの元本100万円が200万円に一気に上がったのです。

一日で2倍です。

さらに翌日も10%あがりました。

元本が1210万円になりました。

100万円の元本が310万円になったのです。

こうなれば、確かにすごいですね。

もっとレバレッジをかければもっと早く儲かります。

先ほどの310万円を元手に、今度はレバレッジを100倍にしてみましょ。

自分の持っている全財産の100倍の借金をしてきたと想像してください。

すると、あなたのお金は310万円なのにも関わらず、取引できる額はなんと3億1千万円。

もしこの後10%上昇したら、一気に3000万円のプラスです。

期待を膨らませたあなたは、一気に勝負に出ました！

そこで・・・

もし、ここで2%のマイナスとなったとしたら？  
2%くらい問題ない？実は恐ろしい結果が待っています。

計算してみると、3億の2%は600万円

600万・・・

あなたの元金は310万円でしたから、この時点で借金です。  
さらに50%の下落が続きます・・・

株価は1億5千万円・・・

しかし、そのうちあなたの元金は310万円。  
借りたお金は3億円。

1億5千万円の損をしていますから、返せるお金は、一億5千万円・・・  
ということは、1億5千万円の借金が一気に出来たということです。

こんな恐ろしい世界に足を踏み入れざるを得ません。

かなり極端な話に聞こえますか？

しかし、これは現実に起きる話なのです。

少し前の話ですが、ライブドアショックやリーマンショック以前の相場がまさにこんな状態でした。

利益に乗り遅れてはいけないと、自分の資金以上のお金を借りて、さらにはレバレッジを使って、そうして、利益を作り出していた投資家やトレーダーがたくさんいました。

その時、彼らは、レバレッジを使って短期的に大きな利益をあげていました。

そう大暴落がおきるまでは・・・

そして、一瞬の大暴落が起きると、一夜にして恐怖のどん底に叩き込まれた人が続出したのです。

想像してみてください。

あなたが車を運転する際に、10キロで走って壁にぶつかるのと、200キロで走って壁にぶつかるときの差を。当然ながら、200キロのスピードで走り続けることが出来るなら、目的地に速く到着することが出来るでしょう。でも、何かのアクシデントが起きたときの被害も大きくなるのが分かるはず。

レバレッジとはまさにこの状態なのです。

これこそまさに諸刃の剣です。

FXでも株でもレバレッジは上手にかけなくては、即破綻につながります。

最近、初心者はFXの方が簡単だという噂がまことしやかに広まっています。確かに、レバレッジが高ければ、さきほど説明したように少ない資金でも儲けることはできます。

しかし、リスクを管理せずに、調子にのっていると本当に痛い目にあう。リスク管理に関しては、しつこいくらいに声を大にして言いたいと思います。

リスク管理とは、言い換えるなら「資金管理」に当たります。つまり、あなたの資金の中から、一度にいくらのお金を入れるかとか、どこまで株価が下がったら手放すかということ。

このリスク管理の技術こそ、長期的にあなたの大切なお金を守り、長期的に稼ぎ続ける上で欠かせない技術なのです。

このお話は、今後のメールで詳しくお話しますが、非常に重要なポイントですから、覚えておいてください。

さらに、このリスク管理の話は、前項の「勝率と期待値」にも関わってきます。

勝率は良くないものの、期待値がプラスになるルールでトレードをしていたとしても、極端なレバレッジをかけていると、プラスになる前に市場から退場せざるを得なくなることもあり得ます。

期待値がプラスであっても、勝率10%のルールを使っていた場合、もし運悪く9回連続で損失を出してしまっても、自分の資金でトレードをしている限りは、次のトレードでトータルプラスを出すことができます。

しかし、レバレッジをかけている場合は、9回連続の損失は、借金を意味し、統計上必ずプラスになるトレードを続けることすら出来なくなる場合も多々あるのです。

このような話は書きたくないですが、レバレッジに潜む危険が何たるかを知らない人が、レバレッジをむやみにかけてトレードし、本当に借金地獄に陥ったという話は、いたるところに転がっているのです。

あなたは、そのような愚かな道を歩く人ではないでしょう。

レバレッジを使うときは、リスクを計算し、対処できるレベルで止めておいてください。

以上をまとめると・・・

レバレッジが高いのは確かに短期的に儲けることが可能。

しかし、諸刃の剣ということを理解し、リスク管理を徹底して使わなければ一瞬で痛い目を見る。

これを常に覚えておいてください。

少なくとも、それさえ守っていれば、市場で億万長者になるチャンスは、いつまでも開いているわけですから。

自分から、億万長者になる道を閉ざすことだけは、絶対にしないでください  
ね。

## 5. 売買シグナルに従うだけで、自動的に億万長者になれると言われるシステムトレードでも、なぜ実際億万長者が生まれないのか？

先ほども少しだけ触れましたが、最近の投資教育業界は、システムトレードが全盛になってきています。

FXのシステムトレード、あるいは日経225のシステムトレード等、様々なものが売れているようですね。

中でも、とても秀逸な教材もあり、膨大なデータと確かな検証のもと、しっかりと機能するシステムも現存します。

ただ、残念ながら全ての教材が素晴らしいシステムかと言うと、首を縦に振るわけにはいきません。

システムトレードというのは、極論をいうと、先ほどから私が言っている「期待値がプラスのルール」を繰り返せばよい。

「システム化して自動で売買できるんだから、確実に利益が出るでしょう」という話です。

確かに、これだけ聞いていると、利益が出ない方がおかしいと思うかもしれませんが。

しかし・・・

利益が出ないシステムがある。そして、システムを買って実行している人のほとんどが損ばかりしている。

それは何故でしょうか？

その理由は、大きく2つに分かれるのですが、まず論外として、システムを売っている本人が、そのシステムを使ってトレードをしていないという場合。

つまり、システムを使って利益を出しているのではなく、システム自体を売ることで利益を出しているという場合です。

実に多いのですが・・・

過去の相場において、プラスの期待値が出るかどうかを検証することが出来るソフトがあります。

そのソフトを使えば、プラスの期待値が出るルールを作ることは、トレードをしていない人でも可能です。

つまり、自分では株式トレードをして利益を出したことが無い人でも、さも「このシステムを使って利益を出している」というように装うことは可能なのです。

ちなみにシステムトレードの欠陥は資金量が多くなると機能しなくなるという点です。

システムトレードも個人が使っているモノから、ヘッジファンドの様な金融のプロが使っているモノまで様々です。

個人が使っているモノも金融大手やヘッジファンドが使っているモノもシステムトレードにおいては致命的な弱点があります。

その弱点をクリアする方法もあるのですが、それには難しい問題があります。

例えば、

ヘッジファンド等のシステムトレードはそのルールがブラックボックスになっていて資金量もコントロールされています。

また、利益を上げ続けている個人のシステムトレードもルールは非公開で、資金量も制限があります。

実は弱点というのは、もし世の中にシステムトレードの商品や教材が販売されていたとしても機能するのは、その資金量が一定以下の時で、資金量があるレベルを超えるとそのシステムは機能しないという弱点があるのです。

もう少し具体的に言うと、

そのシステムに投入される資金量が、そのシステム売買する株価に影響を与える金額になった時点で、そのシステムは機能しなくなるのです。

なぜなら、買いたい時に自分の資金で買い上がってしまっていて、欲しい金額で買えなくなってしまいます。市場に売られている株数には限りがあります。

つまり、あまりに大量の資金で買ってしまおうと、自分で買った行為そのもので株価が上がってしまうのです。

もちろん、一人の単位であれば、そうなる事も少ないのです。しかし、システムトレードとして公開をしている時点で、複数の人が同時に資金を入れることになる。すると、株価が意図せずに動いてしまいます。

逆に売りたい時には、自分がどんどん多く売ると、買い手も限られているので、自分の売りでどんどん価格を下げたてて売りたい金額で売れなくなってしまうのです。

自分の売買の金額が株価に影響を与える資金量になると、そのシステムは機能しなくなるという事です。

分かりやすくいうと、こっそり少ない資金量で行っているシステムトレードは機能することはあるが、それが儲かるシステムとして多くの人に周知された時点で機能しなくなる。

よって過去の検証で機能すると言われるシステムトレードも公開されると間もなく機能しなくなる時期があるという事は理解しておいた方が良いでしょう。

結論を言うと、システムトレードはそのシステムを開発した人が、他の人にそのルールを公開しないで限られた資金で行う範囲においては有効だが、それが販売され普及し、資金がある一定の量を超えるとそのシステムの資金が株価に

影響を与え、自分の買いで株価を上げ、自分の売りで株価を下げるので機能しなくなる。

ということなのです。

一部アービトラージ（裁定取引）のシステムトレードも証券会社の規制 等によって個人レベルでは機能しないシステムがほとんどです。余程の規模で資金量がある場合を除いては機能しにくいと思って間違いはありません。

そして、これがシステムトレードの実態です。

以上をまとめますと、

資金量がコントロールされるシステムトレードでないと機能しなくなる。だから一般に販売されているシステムは過去の検証では機能しても、普及すればするほど近い将来機能しなくなり利益は上がりません。

以上の理由から、結局はシステムを買ってきても利益を上げ続けることができないということになります。

## 6. プロトレーダーは株価の予想が上手い

「プロのトレーダーは、神がかり的な能力で、株価が騰がるか下がるか予想できる」

あなたはそう思っていないですか？

これも盲目的に信じられていることですが、それは大きな間違いです。

プロトレーダーは100%未来が読めるという予想が出来るわけではないので

予想する能力は、誰もさほどの違いはありません。

では、プロトレーダーと、そうでない人を分ける決定的な違いは何か？

それは株価が騰がっても下がっても対応できる能力です。

プロがやっているのは、予想ではありません。

プロも、株価がどちらに動く可能性が高いかということは考えてトレードをしています。

しかしそれはプロでない人が使う「予想」とは、少し違う意味を持っています。

まず、プロでない人が使っている「予想」というのは、株価を見ただけで、この株が上がるか下がるかが分かるというもの。プロは未来が確実に見えるような予想が出来るから、儲かるという誤解があるように思います。

あなたもそう思っていないですか？

今までの話からも薄々分かっていたいただいていると思うのですが、パッと株価を見ただけで、次の瞬間上がるか下がるか、それは誰にも分かりません。まぐれで当たることはありますが、それでは意味がありません。

なぜなら、まぐれでは安定した継続的な利益は続かないからです。

では、まぐれではなく安定期な利益を出すにはどうするのかというと、プロは、丁半博打ではなく、期待値がプラスになるルールに基づくトレードをしているのです。

プロトレーダーがやっているのは、100%次の株価が分かるという予想ではありません。

比較的利益が出る確率の高い方向に資金を投じ、その後、自分がその株をまるで持っていないかのごとく冷静な判断を下すのです。

他人のお金でトレードする感覚といえるかもしれません。要するに損をしても痛くも痒くもない状態です。

確かに自分の資金をエントリーするまでは、

「今エントリーするのが良いか？悪いか？」

という予測を立てています。その予測は、良くて51%の確率で的中するかもしれないという、非常に弱々しいものです。

しかし、そこで決断をして資金を投じる。

その後が、プロとそうではない人の違いです。

プロは、そのエントリーが間違っていたと判断した瞬間、さっさと売却して損を最小限に抑える。つまり、上昇すると思って買いを入れた株が下がったら、すぐに売ってしまうのです。

一方でプロでない人は、自分が下した判断に引きずられてしまう。  
その違いだけです。

予想はするが、その予想に縛られないという言い方が、最も適切なのかもしれません。

言い換えるなら、天気予報と同じです。

あなたは天気予報を見ますよね。そして、天気予報が「今日は晴れ」だと言っていたとして、外に出たら雨が降ってきたらどうするでしょうか？

傘が無ければ買いにあって、傘をさしますね。そして、雨をしのぐ。

または、一回家に戻って雨がやむのを待ってから出て行くなど、対処をするはずです。つまり、あなたは天気予報を見て行動を一度決めますが、天気予報と実際の天気が違って、対応をしているはずなのです。そして、対して腹もたたないでしょう。

なぜなら、100%確実に当たる天気予報なんて無いと知っているからです。

これと全く同じことです。

現在の株価に至るまでに、どういう経緯で株価が動いてきたか、このパターンであれば、いくらくらいは上昇するであろうという**考えに基づき**、株価の次の方向の判断をしています。

そして、エントリーするタイミングを待ちます。

でもむやみやたらにエントリーしたりはしません。

自分が儲けられる、つまりルールにあるエントリーの根拠が見られるまでは何もしません。

そして、ルールの間合いに株価が入ってきたら、そこで初めてエントリーをします。

しかし、エントリーした次の瞬間には、株価が上に行くか下に行くか。  
それは全くわかりません。その瞬間からは、五分五分です。

思ったとおりにいくかもしれないし、思ったとおりにいかないかもしれません。

例えば、240円で買ったら、245円くらいまでそのまま上がるだろうと思ったのに、235円に下がったとします。

これは、思惑とは別です。

するとどうするか、  
損切りをします。損を確定するために売ります。

しかし、**その損も計算のうち**です。

**なぜなら、損を小さくしておいて、利益が出たときに結局  
プラスになるルールを元々作っているからです。**

**やはりルールが大事なのです。**

利益とは

$$\text{最終利益} = \text{トータル利益} - \text{トータル損失}$$

です。

つまり、損失が出ることを含めてルールなのです。

損失が出て、それに余りある利益をだすからこそ、最終的には儲かるのです。

うまく儲けのパターンに思惑通りにはまったときに、利益が出て、その損失をカバーし、最後にプラスになってくるのです。

プロは、完全当事者意識でエントリーをしたかと思うと、次の瞬間、非当事者意識で直前の自分の行動を否定できます。もしくは全てをわかったうえで判断し行動しています。

自分の行動を否定して損失を出すことも多々あるでしょうが、トータルでプラスになることを知っているのがプロです。

プロでない人は、買ってから売るまで、ずっと当事者意識のまま売買をして、トータルではプラスになるのかマイナスになるのかは運任せ、という人です。

言い換えるならば、

プロは株価の予想ではなく、株価が騰がっても、下がっても対応できる方法を知っており、その行動ができる様にトレーニングをしているだけなのです。

大事なことはルールを守ることであって、損失の出し方が上手くなればいいのだと理解してください。

損失の出し方が上手いというのは、最小限の損失でトレードを行うということです。

それができれば、自然と利益を出す基礎が出来上がってきます。

また、損失の出し方が上手になると、どんな相場でも恐くなくなります。  
それも非常に重要なポイントの一つですね。

以上をまとめると・・・

どんなに稼いでいるプロトレーダーも予想がうまいわけではない。

自分が稼げるチャートのパターンを見抜き、そのポイントに入ってきたときのみトレードを行う。

そして、思惑とはずれて損失が出てもすぐに損切りし、ルールに従い繰り返すことが利益につながっている。

## 7. テクニカル指標は何が一番良いのか？

これは、深い話をすると、難しくなりすぎるので、大事な本質だけをお話します。

テクニカル指標というのが、世の中にはたくさんありますよね。

MACD、

ボリンジャーバンド、

サイコロジカルライン、

などなど。

「では、どれが一番良いのだろうか？」

「どれが一番儲かるのだろうか？」

そんな期待にも似た疑問を私も持ったことがあります。

しかし、その質問は、それ自体が意味を持たない質問なのです。

なぜなら、

全ての銘柄、全ての状況で機能するテクニカル指標  
など存在しないからです。

テクニカル指標とは、現在の状況を判断し、次の株価の動きを予測するためのものなのですが、それが100%機能することはありません。

自分のルールを補完する目的で、テクニカル指標を使用する意味はありますが、それ以上の意味を求めるのは酷なことです。

株の値動きとは、あくまでも人間の心理・思惑の集合体です。

どのような状況でも機能するテクニカル指標などはありません。

万が一、そのようなテクニカル指標が生まれたとしたら、その次の瞬間に、人間によってその指標は打ち崩されます。

完璧なテクニカル指標を追い求めることは、寸分の狂いもなく当たる占いを求めているようなものです。

自分が利益を出すために、完璧ではないテクニカル指標を、どのように有効活用して行くか？という事に時間と情熱をかけた方が有意義です。

もう一つ。

代表的なテクニカル指標は、それを元に判断をしている人がいるということを表しています。

あなたの取引画面の向こうにいる人が、それをどのような判断材料に使っているのかを想像することは、あなたのトレード力をアップさせるトレーニングになるでしょう。

同様に、日経平均も指標です。

4000近くある取引銘柄の中で、225銘柄しかフォローしていない日経平均の数字そのものには、~~実は意味はありません。~~

重要なのは

「日経平均を判断材料の一つにしている人が、数多くいる」という事実です。

ですから、画面の向こうにいる人が、日経平均を使ってどのような判断をしているのか。

これを想像することが重要なのです。

是非覚えておいてくださいね。

以上をまとめます・・・

全ての銘柄に100%機能するテクニカル指標は存在しない。自分が利益を出すために、完璧ではないテクニカル指標を、どのように有効活用して行くか？という事に時間と情熱をかけた方が有意義なのです。

## 8. 証券アナリストの推奨銘柄を買っても 全く意味が無い理由

最後に、初歩的なことだと思いますが、利益を出すために必要な思考回路のおさらいということで「証券アナリスト」について考えて見ましょう。

ここまで読んでくれたあなたは、

「証券アナリストが強気になっていたら、絶対に株価は上昇する！」

なんて思っていないよね？

証券アナリストが強気の発言をしても、株価は上昇しません。

では、ここで一度読むのを止めて、

「ではなぜ株価は上昇しないのか？」

を、あなたなりに考えてみてください。

考えてみましたか？

この質問に答えられれば、あなたが今までこの無料レポートを読むのに費やした時間と労力は、とても価値のあるものになっているはずですよ。

私は本気です。読むのを止めて考えてみてください。

考えてみてくれてありがとう。

では、答えを一緒に考えてみましょう。

今までのおさらいですが、画面の向こうにいる人の心理を考えてみれば分かると思います。

証券アナリストは何を考えながら銘柄を推奨しているのでしょうか？

あなたのフトコロが潤うことを、真剣に考えて推奨をしてくれているのでしょうか？

残念ながら、彼らには彼らの生活があります。

私やあなたが、証券アナリストたちの利益のために、毎日毎日仕事をやって努力をしないのと同じように、全ての証券アナリストが、顔も知らないあなたや私をリッチにするために、日夜真剣に努力をしていると考えるのは、なかなか難しそうです。

大概の証券アナリストは、自分の所属する会社、通常は証券会社のために働いています。

その会社は、会社の利益のために日々頑張っています。

証券会社が利益を出すためには、お客様に商品を売買してもらって、手数料をもらわなければなりません。

遠回りをしてはいますが、つまるところ、銘柄推奨をする証券アナリストの最終目的は、我々に銘柄を売買してもらうことが目的であり、売買したその人が儲かるかどうかは関係ないのです。

4000近くある銘柄のうちの1銘柄を選んで、時間を使って、雑誌やテレビの枠を使って推奨するのは、その銘柄を売買してもらうという目的のためにやっているのです。

彼ら証券アナリストは一生懸命です。

自分の知識と経験をフルに活用して、少しでも良い情報を提供しようと頑張っています。

ただし、残念ながらその努力は、あなたに向けられたものではないのです。

証券アナリストというのは、ほとんどの場合自分でトレードや投資をして利益を出しているわけではありません。そもそも、自分で株式の売買するにはコンプライアンス上の大きな制約があり、個別株への投資、トレードがしにくい立場なのです。

その中で推奨をする。特定の銘柄を取り上げる。

そこにある彼らのメリットを考えてあげられるようになると、見えてくるものが変わってきますよね。

また、証券アナリストが銘柄を推奨しているのは、投資的判断によるものがほとんどです。つまり、企業の価値に対してお金を投入しているのです。

しかし、私がやっているのは株価にお金を投入する行為ですから、投資ではありません。トレードなのです。

ですから、証券アナリストの発言は気にする必要はありません。

チャートの中に集団の心理のストーリーを見て、証券アナリストの人の分析やそれをもとに売買をしている人の心理もそのチャートに含まれている。そんなことを考えられるようになったら、株式トレードも今までと趣きが変わってきませんか？

少なくとも、そのような思考回路を持ち始めてから、私は継続的に利益を出せるトレーダーになることが出来ました。

あなたは、どのように感じますか？

以上をまとめると・・・

証券アナリストの仕事は、株を売買させて、自分が勤めている会社を儲けさせることである。売買したその人が儲かるかどうかは関係ないので。

また、証券アナリストの発言は、投資的判断によるところが中心で、現在の株価が判断基準であるトレードには影響が大きい。

ということです。

以上、あなたが株の迷宮に迷い込まないために、と言ったテーマで話してきましたが、いかがでしたか？

このレポートを読んで分かったと思いますが、具体的にどうやれば、これくらいの利益になるとかいう、簡単に利益につながるお話はしていません。

していない理由は、こういう基礎や前提を最初にお話しておかないと、一瞬小銭を稼ぐことはできても、安定的に稼ぐことは不可能だからです。

つまり、このレポートを読むことで、あなたが安定的に稼ぐためのベースを作ることができたということです。

ですから、あなたが株に関わっていく時に、最低限知っておいた方が良いことをプレゼントするために作成してきました。

このレポートを読み、何に力を入れていくべきなのか。

何を判断材料に投資教材やトレード教材を購入すればいいのか。

そして、変な教材に騙されないようにするにはどうしたらいいのか。

少しずつ分かってきたはずですよ。

「少しは稼いでいるのだけれど、どうも腑に落ちない」とか、

「このまま長期に続くとは思えないから不安がある」

そんな気持もよくわかります。

基本的に、株をやるということそのものが、孤独な作業ですものね。

そんな孤独の中で、奮闘しなければならないのは、本当に精神力のいることです。

利益を出していても、ましてや損を出していればなおさら、他の人に相談できない人も多いのではないのでしょうか？

利益を出している人の話は聞きたいけれど、身近にいない。

または、いたとしても、素直に聞くことが出来ない。

そんな気持ちを抱えている人もいるかもしれませんね。

あなたと私の、この距離感が、あなたが素直に耳を傾けてくれる方向に働いてくれることを願っています。

今回のレポートは、利益を出す以前の、必須の基礎です。

「投資とトレードの違い」からはじまった、ここで話したことが腹に落ちているかいなかで、これからお話する「利益の出し方」のスピードは俄然違ってきます。

私の愛しているトレードを、あなたにももっと好きになって欲しいと思っています。

そのためには、綺麗事だけではなく、儲ける快感というのを知って欲しいと思っています。

そして、あなたが安定的に利益を出し、様々な夢を当たり前で叶えることが出来る。そうなれば、多くの人にインスピレーションを与えることが出来る。

そして、あなたが多くの人のインスピレーションになることで、次の人々が自分の可能性を開花させ、もっと明るい世の中になる。そんな流れができればと思って今回はレポートを書きました。

今後メールで、利益に直結する本質的なお話をしていきます。

本質的な話ですから、正直なところ読む人のレベルを選んでしまうかもしれません。

もしあなたが、このレポートの中身に書かれたことで、一つでも新しい気付きがあったと思うなら、あなたはトレードで儲ける本質が分かるステージにいるのでしょ。

かなり不定期になるかと思いますが、今のところメールするつもりではいますので楽しみにしてくださいね。

それでは、長々と読んでいただいて、ありがとうございました。

もし、レポートの感想があれば、こちらにいただけると嬉しいです。  
嬉しいと次のメールを書く気持も高まりますのでぜひ感想くださいね。

<http://www.kabunogakkou.com/message/report.php>

また最近、迷惑メールが多すぎて、私からのメールも、迷惑メールとして扱われてしまい、届かないという声もいただきます。そこで、私からのメールが受信できるように、メールソフトの設定について解説しているページをご紹介します。

メールを受け取りたい場合は、以下のページを参考に設定をしておいてください。

メールを受け取るための設定の仕方をスタッフが語っています。

■Yahoo メールをお使いの方

<http://www.kabunogakkou.com/dl/yahoo.php>

■Windows Live メールをお使いの方

<http://www.kabunogakkou.com/dl/windows.php>

■Gmail をお使いの方

<http://www.kabunogakkou.com/dl/gmail.php>

■その他のメールソフト、Web メールをお使いの方

<http://46mail.net/index.php>

それでは、次はメールで会いましょう。

株の学校ドットコム 講師  
窪田 剛 (クボタ ツヨシ)

Presented by  
株式会社TSUTAYA× 株の学校ドットコム

## 最後に

### TSUTAYAがこのレポートをお届けする理由

この度、10年以上にわたり、日本に株式投資、株式トレードの正しい知識をお届けしてきた株の学校ドットコムに取り組みに共感し、株式会社TSUTAYAと株の学校ドットコムが共同制作した、「タイミングマスター」DVDが大ヒットをしました。その記念としまして、本レポート「株式トレード8つの誤解」を新たに書きなおし、無料プレゼントすることで、より多くの方に株の本質をお届けしたいと考えました。



TSUTAYA×株の学校ドットコム DVD  
「タイミングマスター」

 **TSUTAYA** ×  株の学校ドットコム  
**TIMING MASTER**  
タイミングマスター

執筆は、すでにお分かりの通り、「タイミングマスター」で講師をつとめる、株の学校ドットコム、窪田剛先生にご協力頂きました。

これから株を始めたい方には最適な内容となっており、「タイミングマスター」DVDと合わせて見ることで、さらに株式トレードに対して自信を持って臨むことができます。まだ「タイミングマスター」をお持ちでない方も、株式トレードの本質を掴むため、まず読んで欲しい内容となっています。

これを読んで、株についての知識を深め、ぜひ成功を掴みとって下さい。

# TSUTAYAビジネスカレッジ プロデュース作品

## DVD-BOX「タイミングマスター」



### 【作品介绍】

株の学校ドットコム講師、窪田剛氏が、株式トレードの真髄である“いつ買って、いつ売るか”のタイミングを明かします！

【DVDタイトル】 『タイミングマスター』  
【仕様】 カラー/ 16：9 /ドルビーデジタル2.0ch  
ステレオ/音声日本語/ 275分/2015年/日本/ 3枚組  
【コピーライト】 © TSUTAYAビジネスカレッジ  
【販売元】 トレジャープロモート  
【発売元】 TSUTAYAビジネスカレッジ  
【品番】 CPDS-11690  
【価格】 ¥29,800+税

※現在は販売しておりません。次回の販売時期が決定しましたらお知らせ致します。

## 書籍「株の学校」シリーズ

累計10万部突破！全国のTSUTAYA BOOKS、他書店にて好評発売中！



『株の学校』  
【発売日】 2015年3月10日  
【出版社】 高橋書店  
【定価】 本体1,600円+税



『株の学校 超入門』  
【発売日】 2017年3月15日  
【出版社】 高橋書店  
【定価】 本体1,550円+税

### 【作品介绍】

#### 『株の学校』

元手30万円で株をはじめ、資産を数億円にした著者が、初心者・初級者が知っておかなければならない考え方・利益を伸ばす方法を余すことなく解説。

#### 『株の学校 超入門』

まったくの初心者なのでゼロから知りたい。株の雑誌やニュースをちゃんと理解したい。そんな株初心者のためのいまだかつてない株の入門書誕生。

発行元：株式会社TSUTAYA  
企画協力：株の学校ドットコム